IT現場でよく使う業界用語について

５０音順で

【エビデンス】

　証拠や照明という意味の英単語

例）「この処理の実行前と実行後のエビデンス取っといて」

→DBに入っているデータを変更する際、変更前の取得されていた情報のスクリーンショットを取っておく。そして変更した後の取得された情報の結果のスクリーンショットを取り、ファイルなどに保存して残しておくことで、万が一問題があった際に正式にデータが変更された証拠になる。

他にもバッチログを取る。SQLの実行結果を残しておく、などの方法がある。

【怒られる】

　処理が失敗したり、エラーメッセージが出て警告終了する事。　パソコンに誤りを指摘されることが多いいイメージが強い。

例）「コマンドを間違えて、怒られた」

→入力したコマンドを間違えてパソコンに間違いを指摘される。

SQLコマンドの末尾の「；」を忘れてエラーメッセージが出る。

【返り値】

バッチ、シェルでは実行結果が正常だった場合「０」が帰ってくる。

任意の値を返すように設定する事でエラー原因を特定できるようにもしたりもする。

⇒「エラーログ」

【がっちゃんこ】

合体。

例）「ここはパラで進めて後でがっちゃんこします」

→別々に開発して後でマージ。

【Grep（グレップ）検索】

サクラエディタの機能の一つ。

入力された文字列が存在するかの検索を、指定したディレクトリ内のファイルにすべてに対しておこなってくれる。

例）「この関数はどこで使われているかグレップしといてください」

→サクラエディタのメニュータブに「検索」があるので、その中の「Grep」を選択し、指定された関数名で検索。

【Grep（グレップ）置換】

サクラエディタの機能の一つ。

指定したディレクトリ内でグレップされた文字列を任意の文字列で一斉置換してくれる。

例）「パス変わるので置換しといてください」

→サクラエディタのメニュータブに「検索」があるので、その中の「Grep置換」を選択。

どれだけのファイルでそのパスが使われているのかわからいので、グレップ置換してしまえば漏れもなく便利。

【コケる】

何らかの異常によってプログラミングの処理が途中で止まる事。異常終了する事。

例）「サーバーの再起動処理でコケた」」

→サーバーの再起動プログラムが何らなの異常によって起動が失敗した。

【サマリ】

データをまとめるのか合計するのか、現場によって使われる意味合いが違ってくることがある為、どういった意味で使われているのか確認が必要。

例）「ここでサマリしたデータ出しています。

※データをまとめるだけなのか？データの合計値も出しているのか？

【シェル】

リナックスにおけるバッチのようなもの。

バッチと同じように日次の処理などに利用されるが、コマンドがバッチとは異なる。

システムリプレイス案件では、バッチからシェルやその逆の変更が必要となることもある。

【システム日付】

//後で

【叩く】

人が、直接コマンドやプログラミングを実行する事。

自動で実行される場合と対比して手動で実行するときに言われることが多い。

例）「そのログの収集バッチ叩いといて」

→ログを収集バッチの実行をする。

【DDL（ディーディーエル）】

CREATE、DLOP、ALTER、TRUNCATEのようにデータベースオブジェクトそのものを操作するためのSQL文。

例）「流したDDLはとっといてください」

→保存しておく

【デグレ】

１つのファイルに対して複数人が同時に編集・保存をしてしまうことで、一方の編集内容が失われてしまう事。

例）「デグレ気を付けてください」

→ファイルを改修する際にチームメンバーに声かけして同時に保存しないようにする。

【デリミタ】

データを切り分ける為の区切り文字の事。

CSVファイルではカンマが用いられることが多い。

例）「デリミタはタブで」

→区切り文字をタブで設定する。

【トランサクション】

【トリガー】

【流す】

処理を実行する事。

例）「このSQL文(INSERT文)流してみて」

→DBに対してSQL文を実行する。

【バッチ】

複数のプログラムからなる作業の際に、あらかじめ一連の手順の処理をプログラムとして組み込んでおき、まとめて連続的に実行する処理の事。

1. Windowsの場合「．bat」ファイルに行いたい処理をコマンドを使って記述する。

その「.batファイル」を置いた場所かパスでコマンドが実行される。

1. ファイル名に「MMDD」という記述があるファイルに入力された日付にリネームする「rename.bat」というバッチファイルがあるとする。

このバッチファイルを実行すると、最初に日付の入力が求められ、入力をするとバッチファイルが置かれているフォルダ内の「MMDD」が記述された部分が入力された日付が入ったファイル名にリネームされる。

【バッチログ】

バッチ処理が行われた際に、実行結果のエラーやログなどを記録しておくもの。

例）「バッチログ確認してみて」

→ディレクトリに置かれている場合やネットで確認する場合、テーブルに保管されている場合等様々なので質問の必要あり。

【バリデーション】

入力チェック。入力フォームに入力された内容がこちらの意図したものになっているかをチェックすること。

例）「バリデーションしといて」

→求められる入力血を確認してチェックプログラムを作成。

【フラグ】

プログラムが条件判定などの命令を実行する結果を保存しておく領域の事。

例）１がリンゴ、２がブドウ、３がもも【種別判定フラグ】がある。

データのこの部分が１だった場合はリンゴが出力され、、２だった場合はブドウ、３だった場合はももと

出力される。

【マスタ化（正規化）】

【リモート】

//後で